○国土交通省告示第九百六十九号

平成二十四年度における公営住宅法（昭和二十六年法律第百九十三号。以下「法」という。）第十六条第二項の規定による近傍同種の住宅の家賃及び平成二十四年度における法第四十四条第一項の規定による譲渡の対価に係る公営住宅法施行規則（昭和二十六年建設省令第十九号）第二十三条に規定する率を次のように定めたので、告示する。

平成二十三年九月二十六日

国土交通大臣　前田　武志

住宅の構造	北海道地区に適用される率	東北地区に適用される率	関東地区に適用される率	北陸地区に適用される率	中部地区に適用される率	近畿地区に適用される率	中国地区に適用される率	四国地区に適用される率	九州地区に適用される率
建設年度									
昭和二一	—	四八・〇七	五三・五五	五〇・九五	五三・九二	五二・二七	四七・三〇	五五・五六	五二・〇六
二二	—	二八・六八	三〇・三五	三〇・四〇	三一・九二	三一・七九	三三・二四	三一・〇六	三一・〇六
二三	—	一五・一〇	一六・五六	一五・九七	一六・七二	一六・二八	一六・九〇	一六・九〇	一六・七八
二四	一〇・〇四	一四・六八	一六・〇三	一五・四五	一六・一六	一五・八五	一四・二四	一五・七三	一四・四三
二五	九・三	一三・四三	一四・七三	一四・三	一四・八五	一四・六〇	一三・二四	一四・三九	一三・四三
二六	九・四五	一二・一九	一三・八〇	一三・二五	一三・三六	一三・一七	一二・九〇	一三・一七	一二・九三
二七	八・七一	一一・〇六	一二・一八	一二・〇三	一二・三六	一二・〇三	一一・七〇	一二・〇三	一一・七〇
二八	七・二六	九・五〇	一〇・一三	一〇・一三	一〇・五〇	一〇・二五	九・六〇	一〇・一三	一〇・一三
二九	七・一五	八・二四	九・二九	九・二九	九・四二	九・七四	八・九〇	九・二九	九・二九
三〇	七・八九	八・八五	九・四三	九・四四	九・八四	九・九〇	八・九八	九・四四	九・四四
三一	七・八一	八・五九	九・二元	八・九八	九・九〇	九・二六	八・九八	八・九八	八・九八
三二	七・八一	七・九三	八・五五	八・四五	八・八六	八・八六	八・五五	八・五五	八・五五
三三	八・四五	七・八〇	八・六六	八・二元	八・七六	八・七六	九・一六	八・六六	八・六六
三四	八・〇九	七・五八	八・二〇	八・一〇	八・二四	八・五	八・一〇	八・一〇	八・一〇
三五	七・〇九	六・九三	七・五九	七・三五	七・四五	七・四九	七・三五	七・三五	七・三五
三六	五・九四	五・五六	六・六七	六・二	六・九三	六・一四	六・二	六・二	六・二
三七	五・六九	五・二六	五・六〇	五・八三	五・九四	五・九五	五・六五	五・八三	五・八三
三八	五・六六	五・〇一	五・五九	五・六四	五・九六	五・八五	五・〇四	五・六四	五・六四
三九	四・八七	四・七三	五・〇八	五・二七	五・五六	五・四一	五・〇四	五・二七	五・二七
四〇	四・七〇	四・七三	五・〇三	四・九五	五・五五	五・三三	四・七三	四・九五	四・八八
四一	四・六五	四・四七	四・九八	四・七三	四・九六	四・九一	四・四三	四・七三	四・六八
四二	四・四九	四・一三	四・三	四・一三	四・二四	四・三	四・〇四	四・一三	四・一元
四三	四・〇四	三・八三	三・八一	三・九二	三・九二	三・八〇	三・九五	三・八一	三・八四
四四	三・六六	三・五八	三・五五	三・七〇	三・六〇	三・六一	三・六九	三・六九	三・六七
四五	三・三六	三・二七	三・三三	三・二七	三・三七	三・三	三・四五	三・三七	三・四四
四六	三・一六	三・一三	三・〇八	三・一八	三・一二	三・〇九	三・一九	三・一一	三・〇七
四八	二・一〇	二・〇六	二・〇四	二・一九	二・〇〇	二・〇一	二・一一	二・一二	二・一三
四九	一・七〇	一・七一	一・六六	一・七一	一・六五	一・六五	一・六九	一・七四	一・七五
五〇	一・七〇	一・七〇	一・六四	一・七一	一・六五	一・六五	一・六九	一・七四	一・七三

| 木造（準耐火構造及びを除く。）及び簡平屋建ての易耐火構造 | | | | | | | | |